

講演会

中国社会に拡がりつつある労働問題

～広東省の労働政策とその意味について～

講師：張暎碩氏（韓国 聖公会大学 教授）

通訳：稲垣 豊（レイバーネット日本 国際部）

司会：石井知章（明治大学商学部教授）

張暎碩氏（チャン ヨンソク）

1961年生まれ。延世大学社会学科卒業。北京大学大学院社会学研究科博士課程終了。社会学博士。石塔労働研究院研究員（1989-93年）、新聞記者、英国サセックス大学客員研究員（2010-11年）を経て、現在、聖公会大学人文学部中国学科教授。主な著作として、『当代中国の労働制度の変化と労働組合機能の転変』（河北大学出版社、2004年）、『主要産業の中国内競争構造の分析：労働環境』（共著）〔韓国産業研究院、2012-2016年〕など。

講演要旨

- ① 広東省が労働組合幹部の直接選挙制を採用し、「労働組合活動家の職業化」や労使紛争における「根源的ガバナンス」を取り入れたことなどについて
- ② 資本の移転はどこまで進み、労働側の抵抗はどこまでつづくのか。また、中国政府の労働分野における諸政策は「新自由主義的」なのか、それとも「非資本主義的」なのか
- ③ 「根源的ガバナンス」の方法としての「労働組合活動家の職業化」について
- ④ 広東省の労働政策をいかに理解し、評価すべきか

1月19日（土）開場 13:30〔予約不要・入場無料〕
14:00～17:00

明治大学 駿河台校舎 グローバルフロント4031教室

主催：明治大学現代中国研究所

〔03-3296-2982/china@meiji.ac.jp〕